

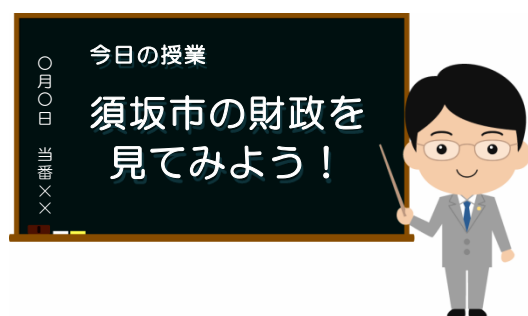
見てみよう須坂市の財政（主に中学生向け版）

はじめに

みなさん、こんにちは。

須坂市では、市民の皆さんに、市政運営に関する情報をより広く知っていただきたいと考えています。そこで、より多くの皆さんに市の財政状況を知っていただきたいと考え、分かりやすい表現を心がけて本資料を作成しました。

市の事業は、小・中学校や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着したものでばかりです。この資料を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対する理解を深めていただきたいと思います。



もくじ

- P1 はじめに
- P2 1 そもそも財政ってなに？
- P2 2 どのくらいのお金を扱ってるの？
- P3 3 どこからどんなお金が入ってきたの？
- P3 4 市民からどのくらいお金をもらっているの？
- P4 5 何にどのくらいお金を使ったの？
- P4 6 教育にはどのくらいお金が使われているの？
- P5 7 預金はどのくらいあるの？
- P5 8 借金はどのくらいあるの？
- P6 9 家計におきかえると・・・
- P7 10 こんなことにお金が使われています。

※本資料では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいて記載しています。ただし、説明文の一部には、分かりやすさを重視する観点から表記を変更している部分があります。

本文中に出てくる「19市平均」とは、須坂市を含む県内全市の平均です。
(長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大田市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市の19市の平均)

「類似団体平均」とは、人口規模、産業構造により35グループに分類された同分類に属する県内都市の平均です。
(2019(令和元)年度は須坂市、伊那市、佐久市、安曇野市の4市の平均)

1

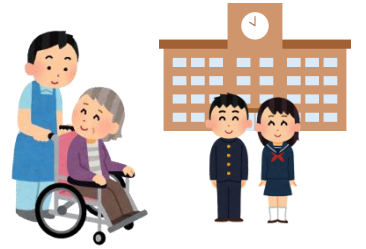
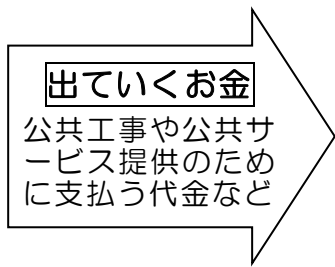
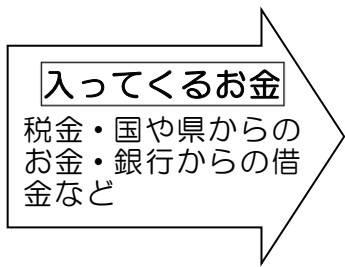


そもそも財政ってなに？

市町村などがお金をやりくりして行なう経済活動全般を **財政** といいます。



個人や企業の方に納めていただいた税金や国や県から入ってくるお金、銀行からの借金、積立たお金などを使って、道路や学校などの公共施設を整備したり、福祉や教育などの公共サービスを提供することです。



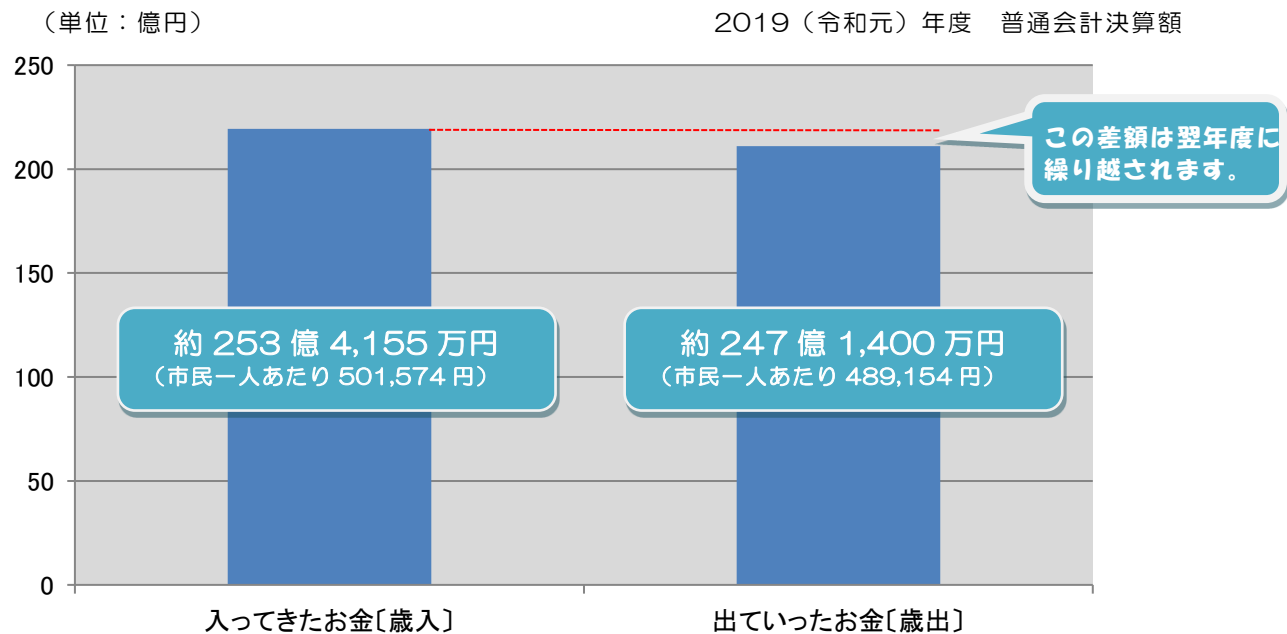
公共サービスの提供

2



須坂市ではどのくらいのお金を扱っているの？

それでは、須坂市が1年間にどのくらいのお金を扱っているか見てみましょう。



200億円ってイメージできないけど、どのくらい？



中学校体育館×40個＝約200億円
(相森中学校体育館建設費 約5億円)



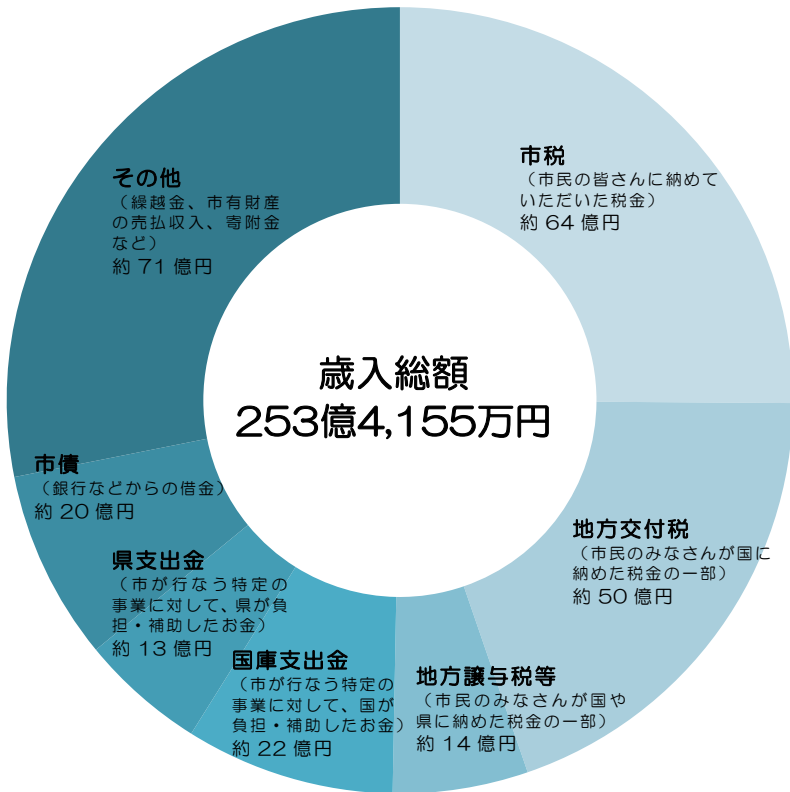
3



どこからどんなお金が入ってきたの？

よう。

では、2019（令和元）年度に須坂市に入ってきたお金（歳入）を見てみま



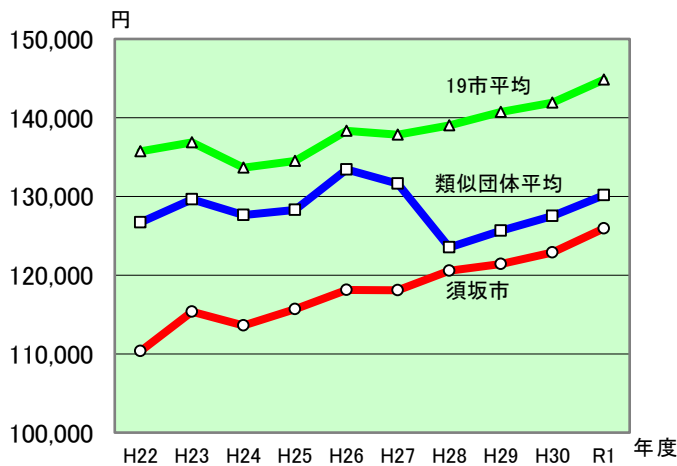
須坂市の運営は市が自主的に集めるお金だけではまかなえず、国・県からもらうお金や、銀行などからの借金を使って運営されています。それでも市民の皆さんから納めていただいたお金（市税）は、市の重要な財源となっています。

4



市民からどのくらいお金をもらっているの？

■ 市民一人あたり市税(市民に納めてもらった税金)の推移



須坂市の 2019（令和元）年度市民一人あたり市税収入は、125,937 円で県内 19 市中 17 位です。内訳は固定資産税（住宅や土地にかかる税金）51,461 円（同 19 位）、個人市民税 50,051 円（同 10 位）、法人市民税 10,114 円（同 12 位）と下位に位置しています。

他市に比べ、市税が少ないということは、須坂市独自の判断で自由に使えるお金が少ないということになります。家計に例えると、自由に使えるお金がないので、欲しいものを我慢して、出費を最小限に節約するのと同じですね。

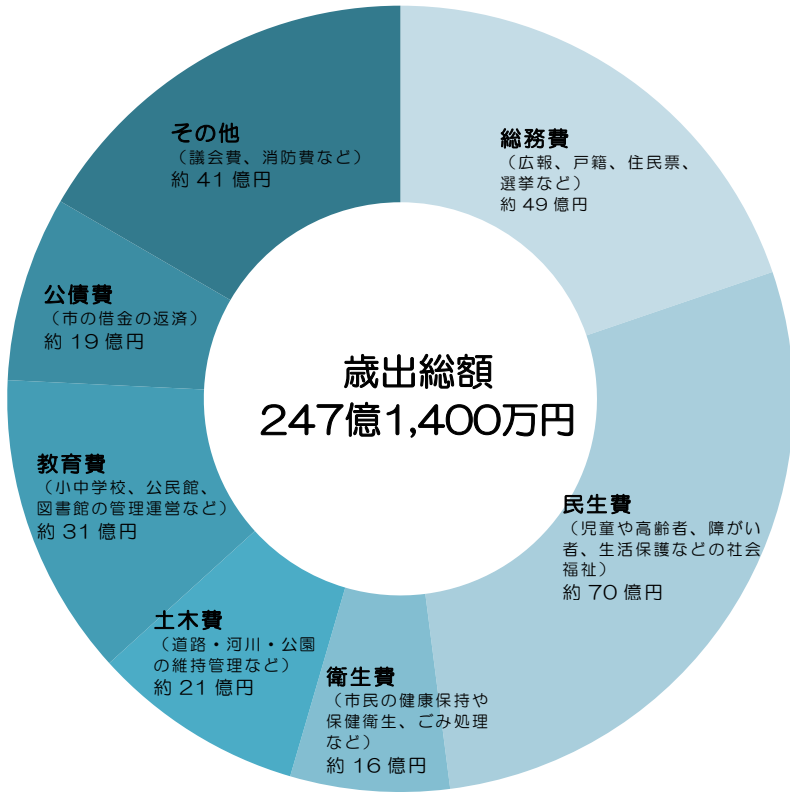


5



何にどのくらいお金を使ったの？

では、2019（令和元）年度に須坂市が使ったお金（歳出）を見てみましょう。
「なんのために使ったか」という観点（目的別）で分類したのを見てみましょう。



一番多いのは民生費で、約 70 億円、全体の 28% を占めています。福祉の關係に非常に多くのお金を使っていることが分かります。そのほか、総務費、土木費、教育費にも多くのお金が使われています。

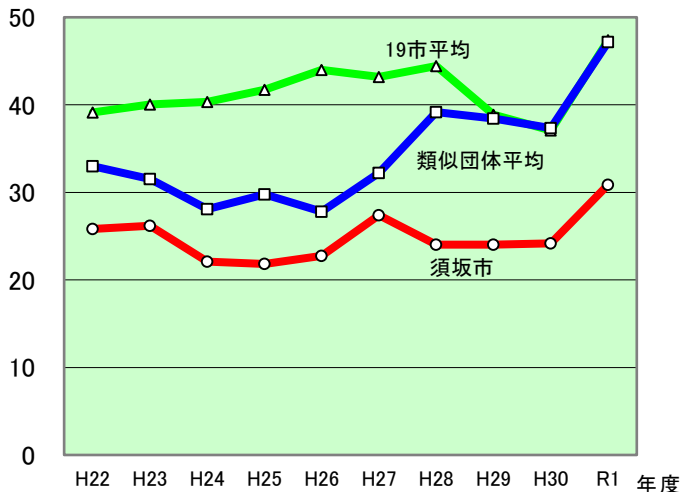
6



教育には毎年どのくらいお金が使われているの？

それでは、教育費の推移を見てみましょう。

■ 教育費の推移



2019（令和元）年度、須坂市の教育費は 30 億 8,715 万円でした。ここ数年は毎年 25 億円前後のお金をかけています。
教育費には公民館の社会教育事業なども含まれますが、小中学校の維持管理や修繕、教材の購入などに多くのお金が使われています。

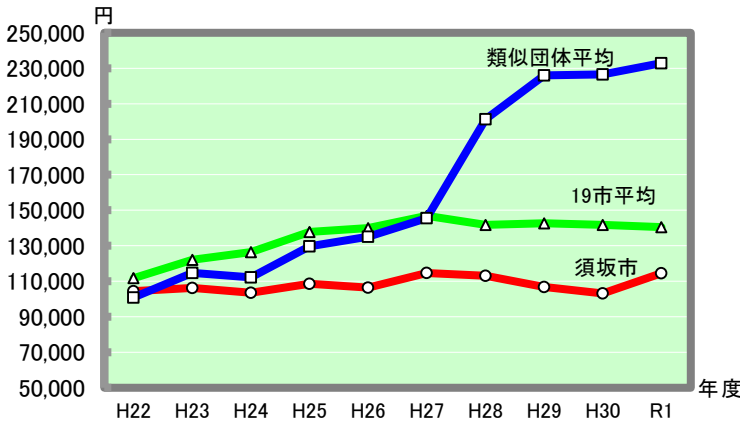
7



須坂市の預金はどのくらいあるの？

須坂市は将来、多大な費用が見込まれる事業に対応するため、目的に応じた預金（積立金）をしています。これを市では「基金」とよんで管理しています。

■ 市民一人あたり積立金残高の推移



須坂市の 2019（令和元）年度末の積立金残高は約 58 億円で、10 年前と同程度の水準を保っています。

市民一人あたりの積立金残高も 114,500 円で、22 年度末と比較して約 1.1 倍とほぼ同額です。

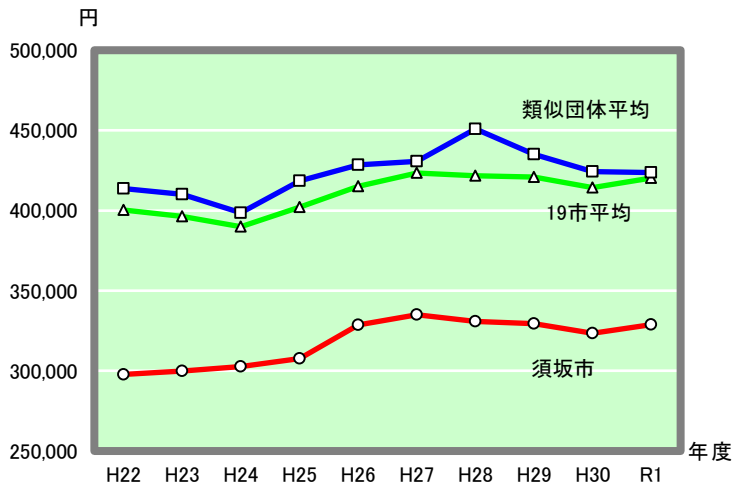
8



須坂市の借金はどのくらいあるの？

市の借金は、市債の状況を見ることで分かります。市債とは、市が必要なお金を調達するために負担する債務（ローン）のことです。

■ 市民一人あたり市債残高の推移



須坂市の 2019（令和元）年度末の市債残高は約 166 億円です。

市民一人あたりの市債残高は約 33 万円、19 市の中で 2 番目に借金が少ない状況です。

預金がたくさんあるのになんで借金するの？



例えば学校を建てると、その後、何十年と使っていくことになるので、建てたときの世代の人たちだけでこのお金を負担するのは不公平です。分割払いにすることで、将来の世代の人たちにも公平に負担してもらいます。

また、建物や道路の整備には多額の費用がかかるため、一度に支払ってしまうと、その年度は他のことができなくなってしまいます。



須坂市の財政を家計におきかえると・・・

イメージしやすいように須坂市の1年間の収支を家計簿に当てはめてみましょう。家計と市の会計では、お金の使い道も規模も全く異なりますが、2019（令和元）年度に須坂市へ入ってきたお金 253 億 4,155 万円を年収 500 万円の家計に例えてみました。

収入

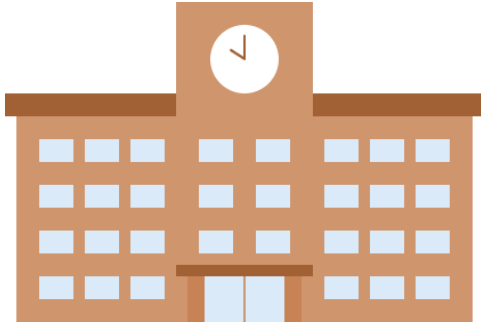
給料	市税	自主財源	126万円
パート収入	使用料・手数料など		10万円
駐車場収入	財産収入		1万円
親からの仕送り	使い道は自由	依存財源	98万円
	使い道がきまっている		69万円
借金	市債		39万円
その他の収入	負担金や地方譲与税など		157万円
合 計			500万円

支出

食費	人件費	69万円
医療費	扶助費	74万円
光熱費などの雑費	物件費・補助費など	135万円
車や家電の修理代	維持補修費	3万円
子どもたちへの仕送り	繰出金	34万円
借金の返済	公債費	37万円
家の増改築	投資的経費	62万円
友人へ貸すお金	貸付金など	23万円
その他の支出	積立金など	50万円
合 計		487万円

家計でいう給料（市税）が少ないことや、医療費（扶助費）が多くかかっていることがわかりますね。





小中学校施設整備事業

小中学生が安全で快適に学校生活を送れるよう施設整備を行ないました。

2019（令和元）年度決算額 9億2,074万円

道路改良事業

市民生活に欠くことのできない道路を計画的・機能的に整備しました。

2019（令和元）年度決算額 2億4,763万円



ラウンドアバウト（沼目町）



須坂市清掃センター

ごみ処理施設運営事業

須坂市清掃センターのごみ処理施設などの運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行ないました。

2019（令和元）年度決算額 5,874万円

観光・誘客宣伝事業

カッタカタまつりや各種イベント等の実施、広告宣伝などを実施し、須坂市をPRしました。

2019（令和元）年度決算額 4,513万円



米子瀑布群（平成28年10月国指定名勝）



須坂市文化会館メセナホール

文化施設管理事業

メセナホールや世界の民俗人形博物館などの管理運営を指定管理者に委託し、適切な施設の維持管理に努めました。

2019（令和元）年度決算額 1億9,556万円

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.